

## NEWS LETTER

FOR FASHION ITEM

ポーラ ザ ビューティー銀座店ニュースレター9月号 <https://www.pola.co.jp/special/polaginja/>04  
EVENTS

日本の伝統美に  
“今”のエッセンスを加えて。

長年、女性の活躍を応援してきたポーラ・オルビスグループ。「人は外面だけでなく、内面の美しさが大切」との考えから、内面の美を支える文化・芸術の支援を行ってきました。2018年からは伝統工芸コーディネイト事業もスタートし、伝統工芸の発展と新たな活躍の場の創出に向けてさまざまな取り組みを始めました。

今期は土地独自の文化が色濃く伝統工芸にも反映している「沖縄」をフィーチャー。伝統と技を継承しながら、現在のエッセンスを加えた独自のものづくりを行う3組の女性作家たちにスポットを当て、沖縄伝統工芸の今を紹介。POLA THE BEAUTY GINZA 店にもその一部が届きますのでぜひご覧ください。



## 陶芸家 金城有美子

サンゴブルーや朱赤など鮮やかな色の焼き物が金城有美子さんの特徴。個展を始めた当初はモノトーンの商品が多かったというのが、中学生向けワークショップを機に鮮やかな色に開眼。沖縄の太陽の下でいきいきと育つシダやヤシの葉、小さな草の葉を表したいとの思いから生まれたのが『Red plants』シリーズも落ち着いた朱赤が力強い作品だ。プレート¥10,000+税(直径24cm) / Jo pottery (11月2日まで展開中)



## 紅型作家 亀谷明日香

沖縄の伝統工芸である紅型(びんがた)の技法でオリジナル雑貨や手染め作品を制作している紅型作家、亀谷明日香さん。高校卒業後、生まれ育った東京を離れて沖縄県立芸術大学に進学し、そのまま沖縄に移住。沖縄の風景や生き物たちをモチーフに、沖縄の陽射しに映える色鮮やかな日用品を制作。手ぬぐいやTシャツなど伝統工芸を身近に感じられる作品を制作している。手ぬぐい¥2,000+税 / 虹島商店 (11月2日まで展開中)



## 機織工房しよん 喜久村敦子・長池朋子・山城恵美子・牧山昌子

沖縄県立芸術大学を卒業した4人の織物作家が共同で運営する機織工房しよん。喜久村敦子さん、長池朋子さん、山城恵美子さん、牧山昌子さんそれぞれが個別にデザインし、各々の個性と感性を刺激し合いながら多種多様なアイテムがうまれる。沖縄の伝統技法で丁寧に作られた手織りの織物は、ショールやポシェットから財布やペンケースなどの生活雑貨まで幅広く揃う。ゲーシ花織ポーチ ¥4,000+税 / 機織工房しよん (11月2日まで展開中)

objewelry meets  
《KUMIHIMO / TOKYO》

日本の伝統工芸に新たな解釈を加え、リ・デザインする「objewelry(オブジェリー)」。今期フィーチャーしたのは、東京の組紐。古くは大陸文化を持ち帰る際、封印としての証であった組紐は、武具の一部や茶道具の飾り紐として使われるようになり、江戸時代後期に帯締めとして使われるようになった。今回は東京を代表する「龍工房」の福田隆太氏の技術をもとに、絵巻物の結をモチーフにした【絵巻江戸組紐ネックレス】としてリ・デザイン。正絹の肌触りとメタルゴールドの輝きをベースに、金糸を使って水の流れを表現した。絵巻江戸組紐ネックレス ¥240,000+税(縦31.4×横13.5cm) / オブジェリー (11月12日より展開予定)

## POLA THE BEAUTY GINZA

東京都中央区銀座1-7-7 ☎ 0120-711071

<https://www.pola.co.jp/special/polaginja/>  
営業時間 11:00~20:00

※「POLA THE BEAUTY GINZA NEWS LETTER FOR FASHION ITEM」にて掲載している商品は、すべてPOLA THE BEAUTY GINZAでのお取り扱いとなります。商品に関するご質問は、POLA THE BEAUTY GINZA ☎ 0120-711071 へお問い合わせください。表示価格はすべて税抜価格です。

晴海通り ● WAKO ● ○ 銀座駅A9出口	CHANEL ●	CARTIER ●	● POLA THE BEAUTY GINZA ● 銀座一丁目駅 ● 7番出口
● MITSUKOSHI	● MATSUYA GINZA	● BVLGARI ● ● MELS A GINZA-2	● 中央通り



POLA



## Brilliant season

間もなく到来する autumn & winter のイベントシーズン。  
いつもの装いにほんの少し華やぎをプラスするアクセサリーを紹介します。



1

1 「tamas」の今期のテーマは“水と油”。反発し合う異質で解け合わないものたえとして使われる言葉が前向きにとらえ、“極端な反発からは新しいものが生まれるもの。前身するときはそんな時。水と油は案外すぐにひとつになるもので、間を繋ぐ要素があればいい”と解釈。tamasらしいニュアンスと奥行きのあるアイテムが揃った。左奥のイヤリング「水と油」¥24,000+税 左手前のイヤリング「Separation」¥19,000+税 右奥のブローチ「Rin in the hand」¥35,000+税 右手前のイヤリング「Blister」¥12,000+税/タマス(12月11日~1月13日展開) 2 “呼吸のように自然にジュエリーをまとう”をテーマに2017年にデビューした「anapnoe」。気軽にリラックスして身につけられるさり気ないデザイン性が特徴。主張しすぎないながらもさり気ない存在感。10Kとスモーキークォーツの組み合わせがシック。同じデザインでハウライトを使ったモダンなタイプも。ピアス¥39,000+税、ネックレス¥30,000+税、リング¥38,000+税/アナプノエ(10月3日~12月9日展開予定) 3 ファッション感覚で楽しみながらアートを身につけてほし

いという思いから生まれたブランド「Christal ART」。デザイナーの堀田真澄さんが描く美しい色合いの絵画をプリントしたスカーフは秋冬のポイント使いにぴったり。大胆なダリアが華やかなスカーフ。¥6,000+税(50×50cm) /クリスタルアート 4 POLA THE BEAUTY GINZA の定番人気「ARTE DIVA」のリバーシブルピアスが再入荷。キャッチ部分にパールがあしらわれ、ビジュア面とパール面どちらを前に使ってもOK。左右で前後違う付け方をしても素敵。リバーシブルピアス ¥5,000+税/アルテディーバ 5 「anapnoe」の月をモチーフにしたシリーズ。程よい華やかさの10K製で日常、華やかな場のどちらにも使いやすいアイテム。右上の三日月のピアス ¥20,000+税 左の十日夜の月のピアス ¥20,000+税/アナプノエ(10月3日~12月9日展開予定) 6 天然石のように見えるパーツ部分、実はデザイナーの堀田真澄さんが一点一点、クリスタルに点描したもの。“クリスタルアート”の奥深さに魅了される。左上のイヤリング ¥14,000+税 左下のピアス ¥12,500+税 ペンダント ¥9,000+税/クリスタルアート



5



2



3



4



6

## COVER ITEM

組紐の技術をモダンなファッションに。

2011年にスタートした『POLA×objewelry (オブジェリー) ×日本の伝統工芸・職人』によるプロジェクトは今年で9回目。今期コラボレーションしたのは、2020年を目前に熱気が高まる東京に伝わる組紐の技術。東京・日本橋富沢町で代々組紐をつくる福田隆氏率いる『龍工房』に協業を依頼。熟練した技術を持っているからこそ組み上げられる組紐は緻密なまでに目が詰まり、小さいながらも存在感は抜群。帯締めを使った表紙のネックレスのほか、バンダナやヘッドドレスなど現代の日常に取り入れやすいアイテムへと昇華させた。



左/シックな色で組み上げた組紐の技術を使ったヘッドドレス。レースを組み合わせ、伝統工芸をよりエレガントに。“江戸の粋”を現代に継承するアイテムだ。¥11,000+税 右/より組紐の技術を気軽に楽しめるバンダナ。海外からの来訪者がさらに増える今後、日本古来の技術はさらに注目を集めるだろう。¥8,000+税 /オブジェリー(11月12日~展開予定)



『龍工房』は歌舞伎界や茶道界に多くの愛用者を持つ格式あるブランドとして知られている。伝統をもつ工房でありながらも進化をいとわず、近年は現代の生活に馴染むアイテムも展開。ポーチやプレスレットなど気軽に組紐の技術に触れられる。ポーチ各¥9,200+税 プレスレット各¥8,000+税/龍工房



加藤 尚子  
Naoko Kato

デザイナー/地域資源を活用し、デザインを軸にブランディング、コンサルティング活動を行う。日本の産地をシームレスに、かつ新しい表現を生み出す自身のブランド『Objewelry』を発表。

【レセプション】2019年11月12日(火)18時~19時30分、ポーラ ザ ビューティー銀座店にて加藤尚子さんを迎えてレセプションを開催。参加ご希望の方は0120-711071にてご予約ください(混雑時は招待状をお持ちのお客さまからの入場となります)。